

- 本日（2月10日）午後2時33分頃、協力企業作業員がプロセス主建屋脇の装備交換所にて置き忘れた警報付ポケット線量計（APD）と蛍光ガラス線量計を別の協力企業作業員が発見しました。
- その後、APDと蛍光ガラス線量計の使用者（協力企業作業員）が1～4号機出入管理所に戻る途中で置き忘れに気づき、午後3時5分頃、プロセス主建屋脇の装備交換所にて回収のうえ、入退域管理所から通常通り退域しています。
- 今後、APD・蛍光ガラス線量計を置き忘れた経緯等、詳細を確認し、再発防止に努めてまいります。
- なお、入域から作業終了までの間においては、APD・蛍光ガラス線量計を適切に携帯していたと報告を受けています。
- 今後、使用者の被ばく線量の評価を行います。



<参考> 時系列

【時系列】

2021年2月10日（水）

09:45頃 1～4号出入管理所を出発（Y装備）

09:55頃 プロセス主建屋脇の装備交換所にてG装備の荷物を置く

10:20頃 現場作業開始（3 / 4号機超高压開閉所西側エリア）

14:00頃 現場作業完了

14:20頃 プロセス主建屋脇の装備交換所にて装備交換（Y⇒G）

その後、巡回バスにて1～4号出入管理所に到着後、APD及び蛍光ガラス線量計の未装着に気づき1～4号出入管理所よりプロセス主建屋脇の装備交換所へ引き返した。

14:33 協力企業作業員がAPD及び蛍光ガラス線量計を発見し、緊急対策本部へ連絡

15:05 プロセス主建屋脇の装備交換所にてAPD及び蛍光ガラス線量計を受領